

「河童のクゥと夏休み」を支援します ふるさと「東久留米」を感じてみよう!

私たちの住むまち東久留米市と岩手県遠野市を舞台に、主人公の小学生と子どもの河童(かっぱ)との心温まる友情を描くアニメーション映画「河童のクゥと夏休み」が、この夏に全国公開されます。

市では庁内に市長を委員長とする支援委員会と、その下に若手職員等で構成する

活動委員会を立ち上げ、この映画を強力に支援していきます。

本特集号では、映画にちなんだイベント情報をお知らせします。今年の夏休みがすてきな思い出となりますよう、映画とともにイベントにも、ぜひご参加ください。

詳しくは支援委員会事務局(生活文化課内) ☎470・7738へ。



《映画のあらすじ》

夏休み前のある日、小学生の上原康一は黒目川の河川敷で大きな石を拾った。持ち帰って水で洗うと、中から何と河童の子どもが。第一声は「クゥ?!」。康一はこの河童を「クゥ」と名付ける。最初は驚いた家族もクゥを受け入れ、クゥのことは秘密にしようと決める。

クゥと康一はすぐに仲良くなった。康一はクゥに外の様子を知ってほしいと、こっそり連れ出す。クゥは環境が大きく変わったこと、仲間が近くにいないことに驚く。見かねた康一は、クゥの仲間を探すため、河童伝説の残る岩手県遠野市へ、クゥを連れて初めてのひとり旅をすることに...

遠野から戻ると、家の近所に記者が。やがてクゥの存在は世間に知られてしまう。追い詰められたクゥは、人のいない場所を求めて東京タワーを昇りはじめる。タワーの上から見える世界に、「静かなところなんてどこにもない。ここは人間の巣だ。もう、くたびれた。父ちゃんのところへ行きたい...」

そうクゥが呟(つぶや)いたその時.....!!



この映画は、今年の1月に亡くなられた市内在住の児童文学作家、木暮正夫氏の作品「かっぱ大さわぎ」と「かっ

ぱびつくり旅」を原作として制作されたものです。

主人公の上原一家は東久留米市在住という設定になっているため、映画では黒目川の遊歩道をはじめ、小山台遺跡公園、南沢湧(ゆづ)水、東久留米駅西口など、私たちが暮らしている東久留米のいつもの風景が随所に登場します。市では「東久留米」の名を全国に発信できる絶好の機会と捉え、さまざまな事業を展



開していきます。活動委員会では特集号でお知らせする事業以外にも、現在、企画を精力的に検討しています。どうぞお楽しみに。

試写会を開催します

全国公開に先駆けて、小学生と保護者を対象とした「子ども試写会」と、一般向けの「トークと試写会」を行います。

いずれも申し込みは6月25日(月)までに(消印有効)往復はがきの往信面に参加者全員(1枚につき3人まで)の住所・氏名・年齢(学年)・電話番号・希望試写会名を記入の上(返信用表面にも住所・氏名を書いて) 〒203・0054 中央町2ノ6ノ23、中央公民館あて郵送を。

子ども試写会

【日時】7月14日(土)午後1時から(上映時間は2時間20分程度)

【会場】中央公民館ホール
【対象】市内在住の小・中学生と保護者(小学3年生以下は保護者の付き添いが必要です)

【定員】500人

トークと試写会

「河童のクゥと夏休み」監督の原恵一氏、木暮正夫氏の二男でイラストレーターのこぐれけんじろう氏、遠野市長の本田敏秋氏、野崎東久留米市長によるトークと試写会を開催します。

【日時】7月14日(土)午後4時半から

【会場】中央公民館ホール
【対象】市内在住・在勤の方

【定員】500人